

「当コミュニティ委員会は、新潟市地域活動補助金を受けて事業を実施しています」

# ながauraコミュニティだより

長浦コミュニティ委員会（長浦コミセン） 〒950-3338 新潟市北区長場 1834-1  
TEL 025-387-2061 FAX 025-386-7495 ※月曜・祝日は休館日です  
☆連絡先の記載がないものは全て長浦コミセンへご連絡ください。  
E-mail アドレス [nagaura-comi@sea.plala.or.jp](mailto:nagaura-comi@sea.plala.or.jp)



8月号 No. 260  
令和6年8月1日発行

## 第55回 長浦芸能まつり開催



7月20日（日）今年も「長浦芸能まつり」が開催されました。三弦会の迫力ある三味線から始まり、25の演目が披露されました。およそ120名を超える参加者で盛大に開催することができました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### 地域のお茶の間応援事業 好評です。

今年度は予定の20回を超え23回、各地の公民館で実施します。すでに9回が終わりました。今年度開催する自治会は、上土地亀・大月・長場・秋葉通・浦木・長戸・内沼です。

7/17（水）の秋葉サロンでの様子をお知らせします。

- 1 介護予防（1時間）** 新潟リハビリテーション病院の理学療法士、作業療法士など専門スタッフから、筋力低下予防などの講座を受けました。
  - 2 認知症の正しい理解と予防（1時間）**
    - ① 支えあいしくみづくり推進員と地域包括支援センター上土地亀のスタッフから基礎知識
    - ② 特養ながauraの郷の介護士から運動と予防
    - ③ デイサービス豊栄園（フードリンク）管理栄養士から栄養と予防
    - ④ 北警察署生活安全課藤木警部補から特殊詐欺防止
- 参加者数は32名でした。ありがとうございました。



### 資源ごみ・廃天ぷら油を回収しています！

長浦コミセンでは以下のものを回収しています。365日いつでも搬入する事が出来ますので、気軽にご利用ください。

- ・古新聞、古雑誌、段ボール、雑紙（雑紙は、ティッシュやお菓子の空箱、包装紙や封筒、コピー用紙なども含まれます。）
- ・廃天ぷら油



<回収場所>

新聞雑誌段ボール等

⇒ 黄色い表示の倉庫へ

廃油はペットボトルへ入れて

⇒ 大王荘玄関前の青い箱へ

**古紙回収に**  
ご協力  
ください。

この表示が  
目印です

## 長浦コミセン公式LINE

長浦コミュニティセンターでは公式LINEを活用し、サークル紹介や、イベントなど、さまざまな情報を発信しています。ぜひLINEで長浦コミセンを「友だち追加」していただきご利用ください。



もっと気軽に

## 調理室を利用しませんか？

長浦コミセンの調理室を利用しませんか？オープン付きの調理台3台と、調理器具も充実しています。



最大15名で利用可能です。サークルで、お友達同士で、気軽にご利用ください。利用料1時間300円です。



## 体験子どもプログラミング教室 ロボット紙工作編

紙工作 (toio) とロボットを組み合わせ、生命をふきこもう！

日時：8月24日(土)

第1部 14:30~15:30

第2部 15:50~16:50

どちらも「ロボット紙工作」です

会場：長浦コミュニティセンター

定員：1部、2部とも各4組まで

(親子、ご家族で参加もOK、小学3年生程度～)

※紙工作をするのではさみ、カッターを扱います)

申込み締切：8/22まで

講師・申込み問合せ

プログラミングキャンパーズ 田辺まで

TEL050-3390-3076



## スマホ教室

ドコモショップ豊栄店のスタッフよりスマホの使い方を学びます。会場は長浦コミュニティセンターです。お使いのスマホをお持ちください。

☆参加費無料+教科書プレゼント 各回定員15名

<基本編>

日時：8月6日(火) 13:30~15:30

内容：①さまざまなアプリ ②キャッシュレス決済

<応用編①>

日時：8月20日(火) 13:30~15:30

内容：①マップを使おう ②災害に備えよう

<応用編②>

日時：9月3日(火) 13:30~15:30

内容：①海外で便利に使おう

②Wi-Fiとオンラインサービス

申込み：長浦コミセン TEL025-387-2061まで

締切は各開催日1週間前です



## アレコレ長浦 ④「坂井經堂先生顕彰碑」について

上大月自治会長  
恩田 文雄

上大月地内に上記の碑が明治100年を記念して、昭和42年12月に建てられました。碑文を現代文に意識すると、次のとおりです。

～ 經堂先生は上大月の坂井家の本家に1818年(文政元年)に生まれ、1863年(文久3年)に江戸にて46歳で亡くなりました。生来、賢い人で、子どもの頃から親孝行に励み、青年となって江戸に行き、門下生が34人もいた佐藤一齋先生(陽明学者)の塾で学び、成績は十番以内だったと言われました。帰郷後、新発田藩に「四木の制※」を進言し、藩の財政と地域の人暮らしに大いに役立つことができました。※「四木の制」とは・・漆、桑、楮(こうぞ)、茶の四木を河川敷や堤防敷きに植えて利益をあげた。又、自宅に

塾を開き、近郷近在の子弟教育に励み、塾生の中には、曾我簡堂氏もいました。先生は勤王の志が高く、尊王攘夷運動に賛同し全国の志士と交わるために再び江戸に行き、病に倒れて無念のうちに亡くなりました。先生には三男二女がおり、現在は先生の孫の伊和美さんが家を継いでいます。～ (以上が碑文の内容です。) なお、顕彰碑は現在、坂井正行さん、美代子さん夫妻(伊和美さんの孫)が大切に守っております。近くにお寄りの際はぜひご覧ください。【次は、大月自治会長 佐藤徳男さんへバトンをお渡しします。】

